様式4

令和5年11月1日

令和5年度　　学校関係者評価及び改善策

（ 中間・ 最終 ）　　音戸中学校区　校番　27　　学校名　　呉市立音戸小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標，指標の設定の適切さ	A	・目標が明確で，指標もわかりやすく設定されています。 適切さ義務教育6年間で，学年が上がるごとに児童自身が成長を実感できる授業の設定は適切だと思います。 ・授業から，どの先生もしっかり取り組んでいると感じています。
目標達成のための方策の適切さ	A	・多様な問題が増えている現在，対応することが多く大変かと思います。その中で，児童の学力面だけでなく挨拶の推進，心身の健康保持，防災意識を高める取組及び教職員の放課後の時間の確保に向けた方策は適切と思います。 ・障害のある子どもたちが生き生きとしているのは嬉しい限りです。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	・学校側の頑張りを感じました。 ・具体的な取組が明示された自己評価は分かりやすく適切と思います。 ・日々の取組として，確かな学力，豊かな心，健やかな心身等の取組内容と現状を数字でも確認でき，分かりやすかったです。
今後の改善策（案）の適切さ	B	・評価して見出した課題を一律ではなく，児童個々に合わせた指導や児童を孤立させず寄り添うことを大切にした取組を進めているところは適切と思います。 ・業務改善の取組で管理職や教務等の中心教諭が取り組むことから，教職員全体で分担することも考えられてはいかがでしょうか。また資料の作成に時間がかかるので，資料のない学校関係者評価委員会にならないものでしょうか。
その他	・地域の子どもの成長が楽しみです。今後ともよろしくご指導ください。 ・児童がのびのび育っていること，勉強していることがよく感じられました。本当に素晴らしいことだと思います。先生方は，本当に子どもが好きな方ばかりなのだと思います。子どもも健康で先生方も心身ともに健康でいてほしいと願っています。 ・評価はできません。一生懸命やっていただいている姿で十分だと思っています。我々も明るい挨拶ができる子どもの育成に参加させていただきます。 ・児童と向き合う時間が確保されていないと感じる教員（20%）はなぜそう思われるのか知りたいです。PTAとして先生方の働きやすさや環境整備のためにできることをしたいです。 ・業務改善の目標達成ができれば，先生方の心も体もゆとりができて，笑顔で子供たちに向き合えることができると思いますので頑張ってください。	

※　評価は，A（とても適切），B（概ね適切），C（あまり適切でない），D（まったく適切でない），N（分からない）

学校関係者評価を受けての今後の改善策	本校の取組について，目標，指標，方策，結果と分析，改善策等が適切であると評価をいただいた。学校関係者評価委員会で出されたご意見を再度確認し，最終に向けて取組を進めていきたい。 〇読む，書く活動を大切にし，タブレットの効果的な活用も図りながら，考える力や表現力を育成し，児童が主体的に学んでいく授業を目指していく。計画的に行っているスピーチの学習を継続し，一人一人が自分の言葉で表現できる児童を育成する。選択制家庭学習について，児童の学習状況を丁寧に観察し，保護者とも連携しながら，必要感をもって自ら学習に向かう児童の育成に向け，取組を進める。 〇挨拶の大切さや気持ちよさを実感させ，自分から進んで挨拶できる児童を育成する。縦割り班活動の中で自分の役割を果たす場，活躍する場を設定し，自分のよさや友達のよさを認め合うことを大切にする。地域学習では直接体験や児童の問いを生かした考える授業づくりを行い，地域の人・もの・ことへの愛着を深めていく。 〇外遊びの機会を増やす取組や体育科の授業等で体を動かすことや集団遊びの楽しさを経験させることで体力の向上を目指す。保護者に啓発しながら，基本的な生活習慣が身に付いている児童，メディアコントロールができる児童を育成していく。災害時に避難する場所を確認したり，避難訓練の事前事後指導を丁寧に行ったりすることを意図的・計画的に行う。 〇毎月の企画委員会で，定期的に教育活動や時程等を見直すことで，児童と向き合う時間を確保する。今後も保護者や地域の声・願いをしっかり聴きながら，各取組の修正や改善を進めていく。